

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 2024年 2月 29日

事業所名: そらいろ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・遊ぶ所、寝る所、職員の部屋と区別できている。 ・3つの部屋を活用している。	
	2 職員の配置数は適切であるか		○		・必要な支援に応じた配置をしている。	・足りるときもあれば、足りないときもある。 ・個別に支援が必要なとき、不足することがある。 ・不足の無いよう職員体制を整えていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・スロープがあるなど、工夫がされている。 ・スロープの設置等安心して過ごせる環境を心がけている。	
業務 改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・打ち合わせと反省の時間を大切にしている。 ・日々の振り返りの時間や職員会議にて、意見交換の場が設けられている。 ・活動計画を立て、反省会も実施しており、意見交換が活発である。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートを実施している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員の能力や必要性に応じて、研修の室内がある。 ・職員会議等、定期的な研修の機会がある。 ・施設内研修の時間を確保している。 ・意見交換を常に行っている。 ・職員会議の中に、研修の時間を設けている。	・もう少し機会を設けていきたい。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・年3～4回ペースで面談を行い、分析している。 ・職員全員の意見を出し合っている。 ・利用者一人一人の個性に基づいた計画を立てている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・一日の過ごし方、その日の様子などを客観的記録として記している。	
適切 な	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・相談したり、前回の内容を確認したりしながら、行っている。 ・リーダーが中心となって立案しているが、職員の意見を回収して反映してくれている。 ・活動リーダーを固定せずに相談して立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・計画書を毎回作成することで、いつ何を実施したかが分かるようになっている。 ・児童の希望・意見も取り入れつつ、様々な活動を立案している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇にしかできないことをしている。 ・ねらい、課題、支援内容を細かく見えるかしたプログラムを作成し、実践している。 ・土曜日活動・長期休暇では事業所外の施設等を利用して様々な体験が得られるようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どものやりたいことを尊重して活動している。 ・自由活動と課題活動、集団あそびを取り入れている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支援の提供	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・打ち合わせの時間を必ずとって行っている。 ・支援前には活動計画案をもとに打ち合わせをしている。 ・計画書を作成し、共通認識を持った上で、活動を開始している。 ・打ち合わせでは情報共有や個別配慮について確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・反省の時間を長くとれている。 ・支援終了後、または翌日の支援前に情報共有に努めている。 ・気づきや反省、よかった点等を共有し、次回に活かせるようなフィードバックを行っている。 ・毎回反省会をし、振り返っている。	・振り返りが翌日になることもあるが、必ず反省・共有を行っている。勤務時間の都合でその日に反省が行えない職員には後日伝える形で共有する。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録をとり、次の支援で見返している。 ・活動の様子や気になること等日誌に必ず記入している。 ・職員の主観ではなく、行動のきっかけと結果を記録し、個別支援の設定につなげている。 ・児童の一日の過ごし方等客観的に事実に基づいて記録している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者に下校時刻を確認し、送迎予定表を作成している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・書類とコミュニケーションを大切にしている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			・該当者なし ・医療的ケアの必要な子どもはいないが、そのときは対応する予定。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・積極的に研修に参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・地域の公園で交流、ふれあう機会づくりをしている。 ・公共の施設での活動を取り入れている。	・現状はなかなか難しい。 ・公園遊びや園外活動を行う際に接する機会が増えるよう配慮していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・保護者との連絡は1日単位でとれている。 ・連絡帳や送迎時等連携をとって、共通理解を図っている。 ・連絡帳等を使って情報交換している。 ・面談の場だけでなく、送迎や連絡の場面でも情報共有している。	
保護	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・子どもに必要な支援方法を伝えている。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・悩んでいることはないか吸い上げようとしている。	・支援の質の向上に日々努めていく。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			・年1回開催しているので、回数を増やせたらと思う。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者 への説明 責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・職員で共有して、同じことが起こらないように努めている。 ・苦情解決体制は不十分だが、苦情があった場合は対応している。	・問い合わせにしっかりと対応できる体制を整えておく。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・写真付きで活動の様子が分かりやすく工夫している。 ・会報を発行していないが、ホームページでの発信をしている。	・もう少し発行の回数を増やしていきたい。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・書類の保管もしっかりとし、職員も守秘義務の意識がある。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・子どもに応じて、話すスピードやトーンを変えている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			・今後実施できたらと思う。
非常 時等 の対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・委員を中心として、全体に周知されている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に避難訓練を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・職員が研修を受けている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	○			・職員の誰かが研修を受けたら、共有している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・アレルギーの有無を書面で確認している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・月2回のミーティング時に必ず共有している。 ・ヒヤリハットの報告は随時行っている。 ・職員会議にて、事例と対応策を共有している。 ・職員会議で報告しあい、情報共有している。	・事例を踏まえて、今後に生かしていく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)